

エクシ 新日軽 スクリーンゲートDシリーズ電動タイプ 組立施工マニュアル

マニュアル番号 ME-1630

改-1

この度は、新日軽商品をご採用いただき誠にありがとうございます。
商品を正しく安全に組立・施工していただくために、この組立施工マニュアルをよくお読みの上、作業を行なってください。

◎組立・施工の前に

- 本マニュアルに示した注意事項は、商品の性能・機能および強度や安全を確保する上で重要な内容です。施工にあたっては必ずお守りください。
- 施工は専門業者が行なってください。専門知識のない方が施工されますと不具合発生の原因となることがあります。
- このマニュアルは施工後必ず施主様へお渡しください。

○注意(設置場所・設置位置について)

- 開閉操作の際には、手足や衣服などをはさまれないよう注意してください。はさまれると怪我をする恐れがあります。
- 門扉を揺すったり、乗ったり、寄りかかったりしないでください。
- 開閉操作の際は、周囲に人や物がいないことを必ず確認してください。又、開閉操作はゆっくり行ってください。扉に人がはさまれ、事故の発生する恐れがあります。特にお子様にはご注意ください。
- 基礎は弊社指定寸法以上にしてください。
- 地下埋設物(給排水管等)に影響を及ぼさないように柱位置を決めてください。
- 強風時は、風の圧力により安全装置が働き扉が止まる場合があります。

○施工時の注意事項

- モルタル用に海砂を使用されますと、多量に塩分が含まれているため、腐食の原因になりますのでご使用を避けていただくか、十分水洗いしたものをご使用ください。また、モルタルやコンクリートの急結剤は腐食の発生や促進作用がありますのでその使用を避けていただくか、塩化カルシウムや塩素系の化合物、珪酸ナトリウム等の入っていないものをご使用ください。
- アルミ商品と銅板やラス等の異種金属が接触しないようにしてください。接触する場合には、ビニールテープ等を貼るか塗料等で絶縁処理をしてください。
- 腐食の恐れのある接着剤や化学薬品を使用する場合には、商品と接触しないようにするか接触する部分を完全に養生してください。
- 埋め込み柱内部にモルタルやコンクリートや水などが入らないようにしてください。柱内部の異常腐食や柱の凍結破損の原因になります。
- モルタルやコンクリートの抽出液はアルカリ性で、シミやムラ等の外観不良や腐食の原因になりますので工事中に商品に付着しないようにご注意ください。
- 養生期間は十分(4日~1週間)にとり、養生期間中は重いものをのせたり、振動させたりしないように指示してください。
- 改造・変更をしないでください。

— 目 次 —

組立・施工の前に	1	[6] レール端部金具の取付け	11
注意(設置場所・設置位置について)	1	[7] 扉の吊り込み	12
施工時の注意事項	1	[8] 吊り元ブラケットの取付け	13
お客様へ		[9] 扉の連結	13
お手入れ方法について	2	[10] 吊り元ガイドの取付け	14
安全にご使用いただくために必ずお守りください	2	[11] 扉本体とベルトの連結	14
ご使用上の注意とお願い	2	[12] 吊り戸車の高さ調整	15
納まり図	3	[13] ガイドローラーの調整	15
梱包明細	4~6	[14] レール端部金具の取付け及び位置調整	16
施工手順		[15] 電源の接続	16
[1] はじめに	7	[16] 扉の手動での作動確認	17
[2] 電源用CD管の埋設	7	[17] アンテナセットの取付け	18~19
[3] 門柱・電動上枠レール・下部レールの組立	8	[18] 動作確認	20
[4] 各門柱・上枠レール・下部レールの取付け	9	[19] 扉が動かないとき	21
[5] ガイドレールの柱への取付け	10	[20] 結線図	22~23
		[21] 仕様 ■ おわりに	24

- 末永くご使用いただくため、下記の事項にご留意くださいますようお願いいたします。
(このマニュアルは、大切に保管してください。)

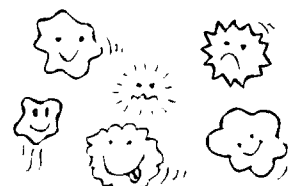
日常のお手入れについて

- 1 この《エクジススクリーンゲートDシリーズ電動タイプ》はアルミ製ですが、いつまでもきれいに気持ちよくご使用いただくため時々、布で表面の汚れを拭き取ってください。
- 2 永い間使用しますと、施錠部や車輪部が緩んだりする場合があります。
組立施工マニュアルを見て調整してください。(プラスドライバー、スパナで出来ます。)
- 3 扉の開閉をよりスムーズにするため回転部の車輪部に適時、注油してください。

アルミ製品のお手入れのお願い

- 1 アルミのサビの原因は・・・

大気中の汚れが最大の原因です。ほこり、ばい煙(すす)、鉄粉などの金属粉、亜硫酸ガスなどの排気ガス、および海塩などです。これらがアルミの表面に付着したまま長く放置されると、湿気や雨水によって影響を受け、腐食させてしまう場合があります。



- 2 お手入れはカンタン

年に数回の水洗いと空ぶきだけでも効果的です。ただし、工業地帯や海岸の近くなどでは、状況によりお手入れの回数を増やしてください。汚れが軽い場合は、やわらかい布かスポンジで水ぶきした後に空ぶきしてください。

■ 地域別お手入れ回数

- 3 汚れが目立つ場合

中性洗剤を薄めた液で汚れを落とし、洗剤が残らないように水洗いしてから空ぶきしてください。



地 域	回 数
臨海工業地帯	年に2～3回
工業・商業・温泉地帯	年に2回
海岸・街道地帯	年に1～2回
田園・山間地帯	年に1回

- 4 お手入れの際の注意

- ・お手入れには布やスポンジなどの柔らかいものを使用してください。金属ブラシ、金ペラ、スチールウール、目の荒い紙ヤスリ等はさけてください。
- ・小石、砂などが付着したまま表面をこするとキズがつきます。あらかじめ取り除いてください。
- ・洗剤は中性洗剤を薄めてご使用ください。酸性洗剤やアルカリ性洗剤はアルミの表面を侵します。
- ・角や隅に洗剤が残らないようにしてください。放置しますと腐食の原因となります。

安全にお使いいただくために必ずお守りください。

このマニュアルに示した注意事項は、安全に関する重要な内容を示しています。人身事故や財産への損害を未然に防止するため、次のような絵表示をしています。

絵 表 示	意 味
	この表示を無視して誤った取り扱いをすると使用者が負傷する危険や物的損害の発生することを表しています。
	「必ず行なっていただくこと」を示しています。

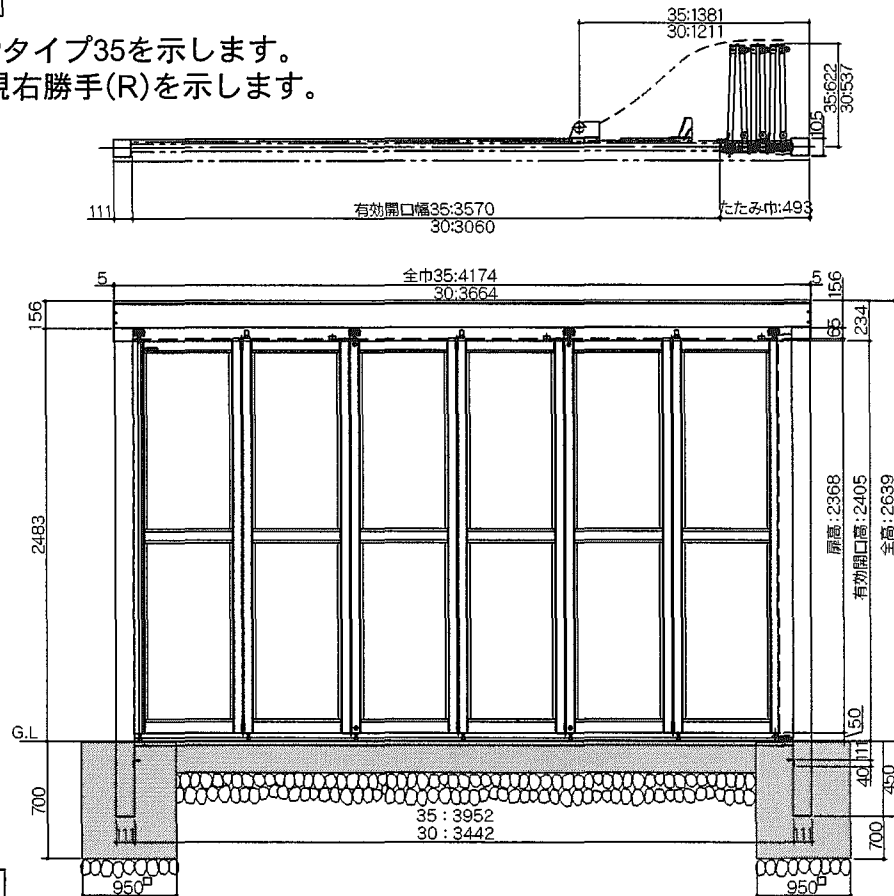
ご使用上の注意とお願い

- ⚠ 注意 通常使用されない場合は必ず施錠してください。
- ⚠ 注意 開閉時には手足・衣服などを挟まないように、注意してください。また、人・物等の傷害物が無い事を確認してください。
- ⚠ 注意 扉を揺すったり、乗ったり、寄りかかったりしないでください。
- ⚠ 注意 上枠レール及び戸当り柱内部に水をかけないでください。
- ❗ 手動操作時は、開閉操作はゆっくり行ってください。急激な操作は思わぬ事故やけがにつながります。
- ❗ 年に一回、ネジやボルトのゆるみがないか確認してください。

納まり図

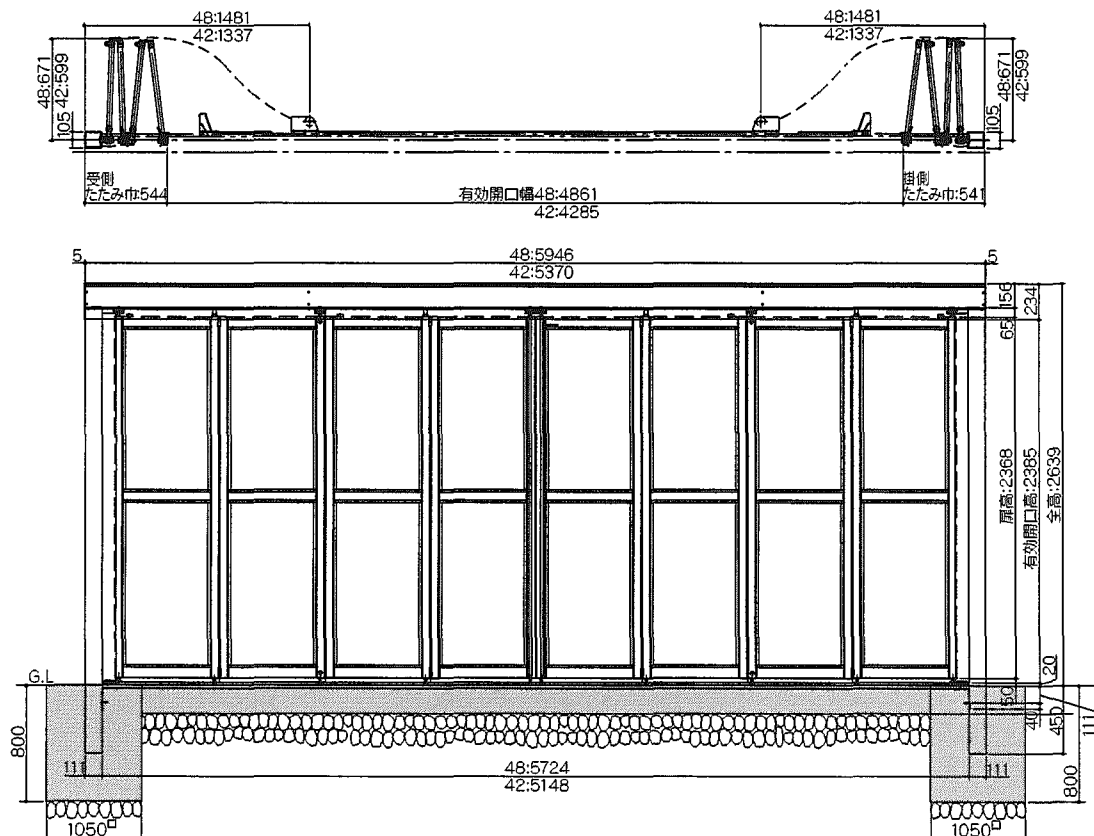
片開き

※本図はFRPタイプ35を示します。
 ※本図は外観右勝手(R)を示します。



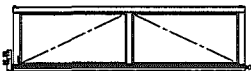
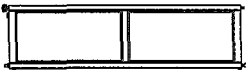
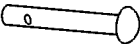
両開き

※本図はFRPタイプ48を示します。
 ※本図は外観右勝手(R)を示します。

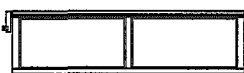
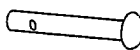


梱包明細

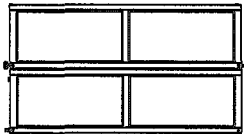
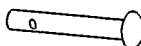
■ 施錠・掛け・吊り元扉セット(片開き、両開き)

部品名		略 図				数 量
掛け扉		片開き	W30:563	H24:2368	1枚	
			W35:648			
		両開き	W42:626			
			W48:698			
吊り元扉		片開き	W30:550	H24:2368	1枚	
			W35:635			
		両開き	W42:613			
			W48:685			
ヒンジピンセット	丸皿小ネジ	 M4×12				2本
	ヒンジピン					2本
	平座金	 M10 小型丸				2枚

■ 受け・吊り元扉セット(両開き)

部品名		略 図				数 量
受け扉			両開き	W42:625 W48:697	H24:2368	1枚
吊り元扉			両開き	W42:613 W48:685	H24:2368	1枚
ヒンジピンセット	丸皿小ネジ	 M4×12				2本
	ヒンジピン					2本
	平座金	 M10 小型丸				2枚

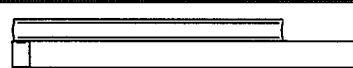
■ 中間扉セット(片開き、両開き)

部品名		略 図			数 量
中間扉			W30:550 W35:635 W42:613 W48:685	H24:2368	1セット
ヒンジ ピン セット	丸皿小ネジ	 M4×12			2本
	ヒンジピン				2本
	平座金	 M10 小型丸			2枚

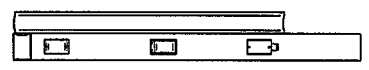
■ 柱セット(片開き) L/R有り

部品名	略 図	数 量
戸当り柱	 (片開き) H24:2933	L又はR 1セット

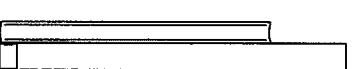
■ 柱セット(片開き) L/R有り

部品名	略 図	数 量
吊り元柱	 (片開き) H24:2933	L又はR 1セット
吊り元ブラケット		1個
座金組込み 六角ボルト	 M8×20	2本

■ 柱セット(両開き電源側) ※柱は、約30kg/本あります。取付けの際ご注意ください。

部品名	略 図	数 量
吊り元柱	 (両開き) H24:2933	L又はR 1セット
吊り元ブラケット		1個
座金組込み 六角ボルト	 M8×20	2本

■ 柱セット(両開き) ※柱は、約30kg/本あります。取付けの際ご注意ください。

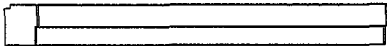
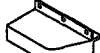
部品名	略 図	数 量
吊り元柱	 (両開き) H24:2933	L又はR 1セット
吊り元ブラケット		1個
座金組込み 六角ボルト	 M8×20	2本

■ ガイドレール

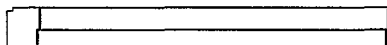
※○の中の数字は、数量を示します。

部品名	梱包内容
30用下部レール	下部レールA(1141L)②、下部レールB(1160L)①、下部レールC(1720L)② レール端部金具②、レール取付金具②、トラス小ネジ(M5×16)⑧、Φ4×16ナベドリルネジ③⑧
35用下部レール	下部レールA(1311L)②、下部レールB(1330L)①、下部レールC(1975L)② レール端部金具②、レール取付金具②、トラス小ネジ(M5×16)⑧、Φ4×16ナベドリルネジ③⑧
42用下部レール	下部レールA(1288L)②、下部レールB(1286L)②、下部レールC(1714L)③ レール端部金具④、レール取付金具②、トラス小ネジ(M5×16)⑧、Φ4×16ナベドリルネジ④⑧
48用下部レール	下部レールA(1432L)②、下部レールB(1430L)②、下部レールC(1906L)③ レール端部金具④、レール取付金具②、トラス小ネジ(M5×16)⑧、Φ4×16ナベドリルネジ④⑧
レール連結部品	レール連結裏板②、クッション材①、φ4X10トラスタッピンネジ④

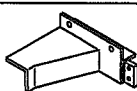
■ 上枠レールセット(片開き)

部品名	略 図		数 量
上枠レール		(片開き) W30:3674 W35:4189	1セット
リモコン			1個
アンテナセット			1セット
組立施工マニュアル お施主様用手引き			各1刷
巾決めパイプ取付用 トラス小ネジ	部品箱入り	 M5×16	4本
アンカー金具			2個
ガイドブラケット			1セット
第一ケリ出し板			1セット
吊り元ガイド			2個
座金組込み 六角ボルト		 M8×20	8本
トラスタッピンネジ		 Φ5×16	10本
トラス小ネジ		 M5×16	2本
トラス小ネジ		 M6×20	4本

■ 上枠レールセット(両開き) ※上枠は、約100kg/本あります。取付けの際ご注意ください。

部品名	略 図		数 量
上枠レール		(両開き) W42:5386 W48:5962	1セット
リモコン			2個
アンテナセット			1セット
組立施工マニュアル お施主様用手引き			各1刷

■ 両開き用部品箱

部品名	略 図	数 量	部品名	略 図	数 量
巾決めパイプ取付用 トラス小ネジ	 M5×16	4本	吊り元ガイド		4個
アンカー金具		2個	座金組込み 六角ボルト	 M8×20	8本
ガイドブラケット		RL各1セット	トラスタッピンネジ	 Φ5×16	20本
第一ケリ出し板		RL各1セット	トラス小ネジ	 M5×16	4本
			トラス小ネジ	 M6×20	8本

施工手順

1 はじめに

1. 下記に示した以外の納まりの場合などは、強度、開閉動作、地盤等を考慮して施工してください。
2. 障害物等により、扉の開閉に支障の無い場所に設置してください。
3. 床面の仕上げは本体のたたみ巾も考慮に入れ、水平に仕上げるか水勾配等を考慮してください。
4. 姿図を参考に基礎穴を掘り、所定の仕上がりになる様捨てコンを打ち、水平レベルを出してください。

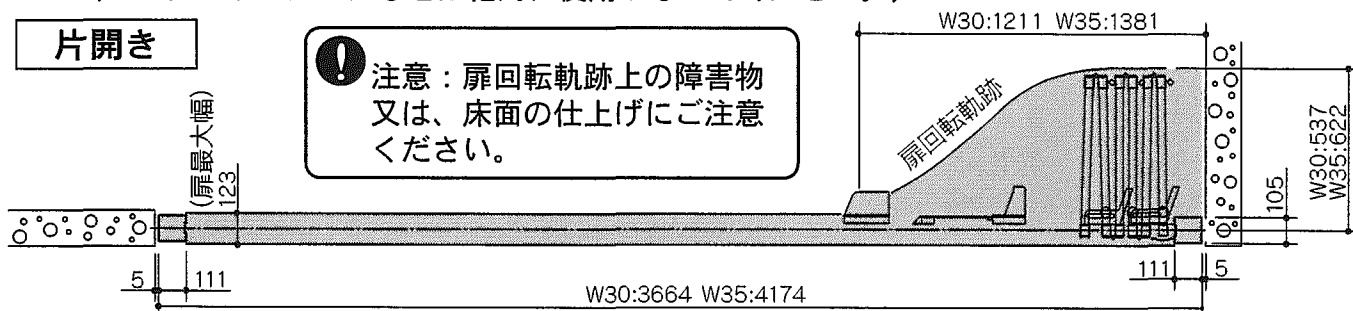
■ 基礎工事について

1. エクジススクリーンゲートは、風圧を受けますので全体の強度保持に十分注意してください。特に地盤が軟弱な場所、台風が頻繁に飛来する地区、特に風の強い場所などの施工現場では基礎を大きめに設けてください。
2. 柱基礎には必ず割栗石を敷き、十分につきかためてください。
3. 地下埋設物に注意してください。

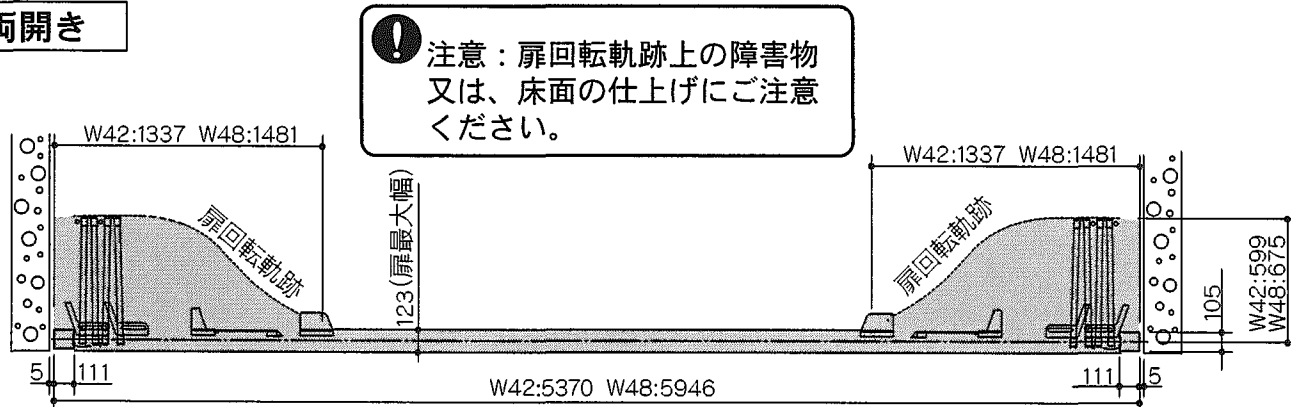
■ 取付けについて

1. 上枠レール及び柱内部に水をかけないでください。
2. 下枠レールに石やゴミなどが詰まったまま動かさないでください。
3. 日常の電源の入切は別にスイッチを設けてください。(上枠レール内の電源スイッチは点検用です。)
4. 敷地内は防滴型となっていますが、操作するとき以外はフタを閉めて雨水などがかからないようにしてください。
5. 敷地内スイッチの表面の汚れは、中性洗剤を浸したスポンジや柔らかい布で拭いてください。(シンナーやベンジンなどは絶対に使用しないでください。)

片開き



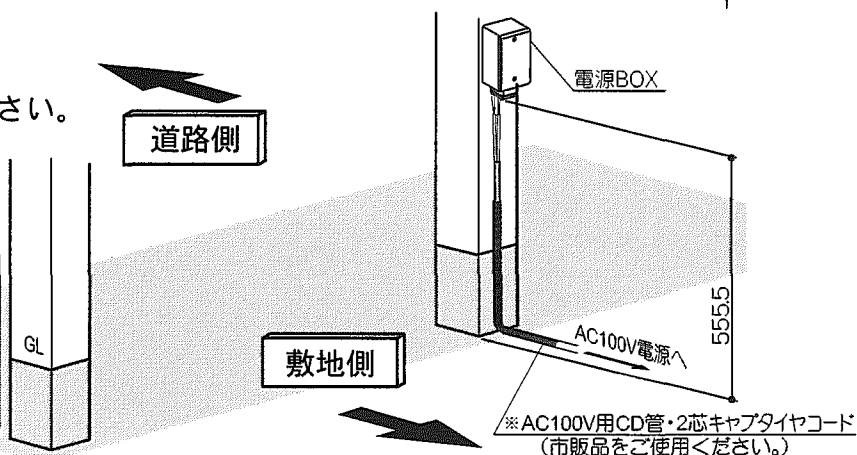
両開き



2 電源用CD管の埋設

1. 電源用CD管の埋設をしてください。

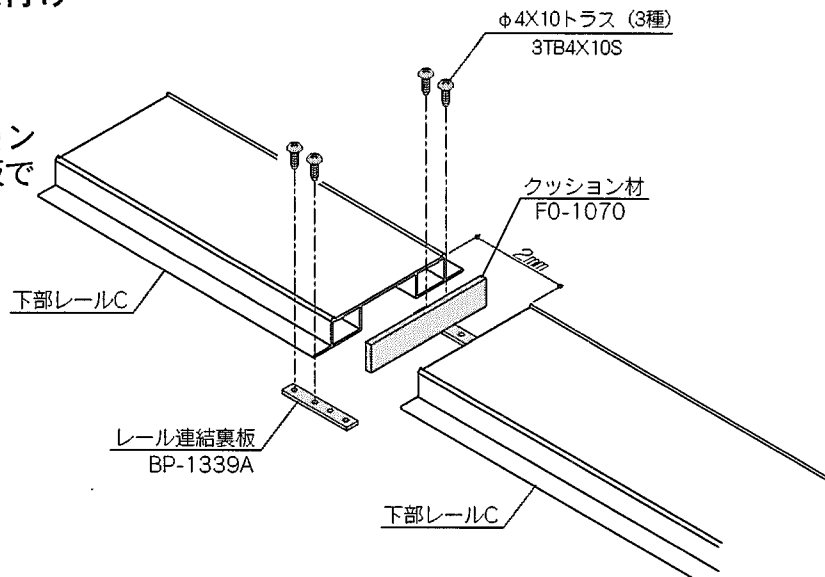
⚠ 電気工事は、電気工事店にご依頼ください。電気工事士の免許がなく工事をすると違法となります。



3 ガイドレールの柱への取付け

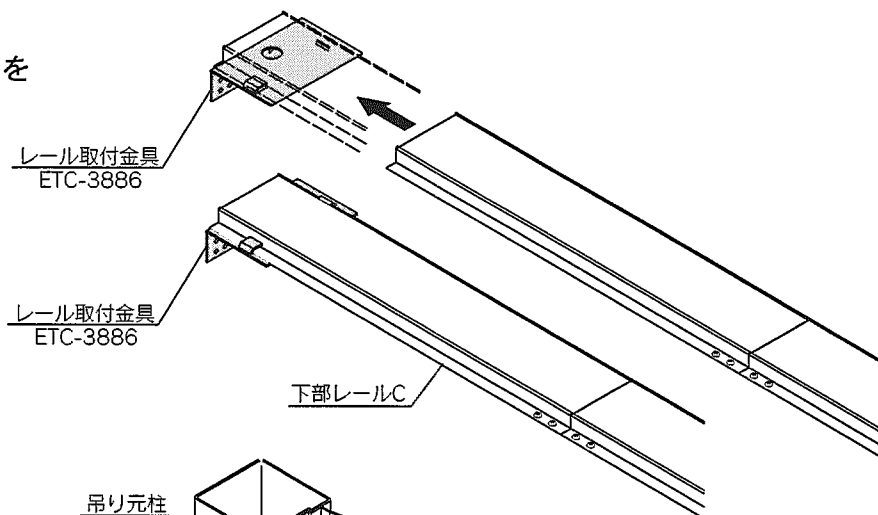
下部レールCの連結

1. 下部レールCの小口にクッション材をはさみ、レール連結裏板でビス止めしてください。



レール取付金具の取付け

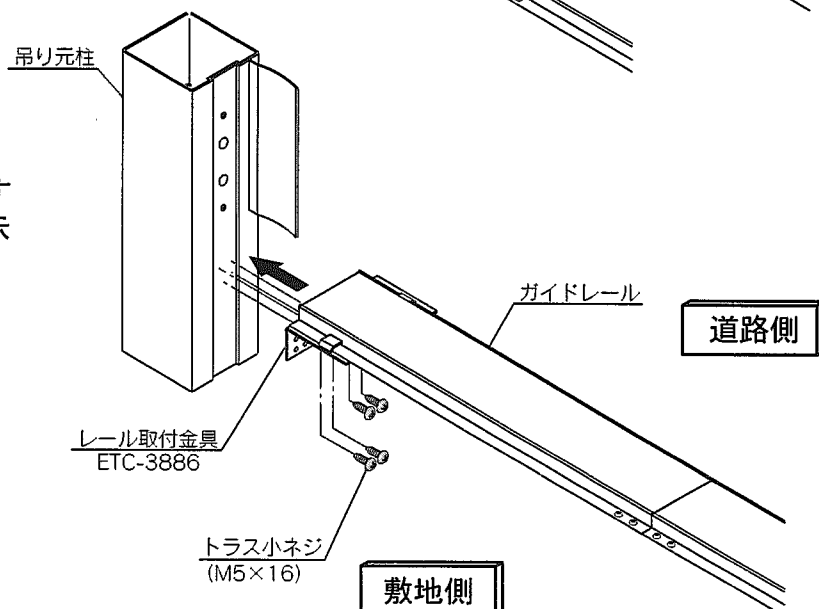
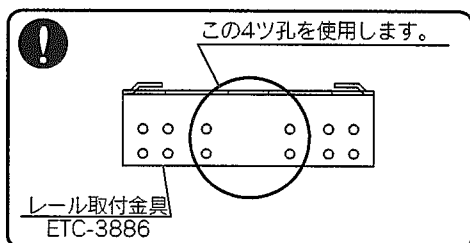
2. レール取付金具に下部レールをスライドさせて取付けてください。



柱への取付け

3. レール取付金具を柱に取付けてください。

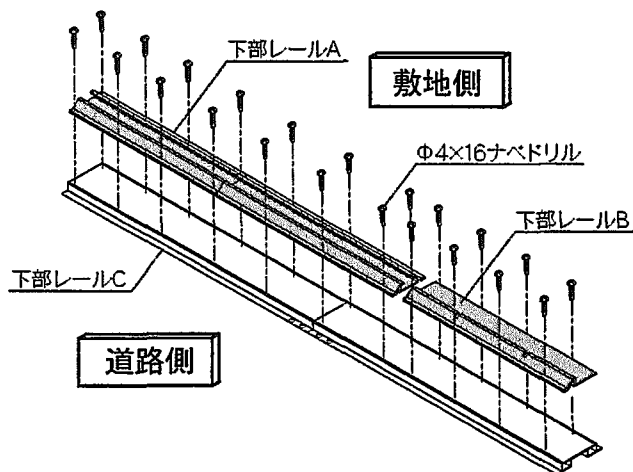
※ レール取付け金具を柱にビス止めする際に、使用するビス孔は下図に示す真中4ツ孔を使用してください。



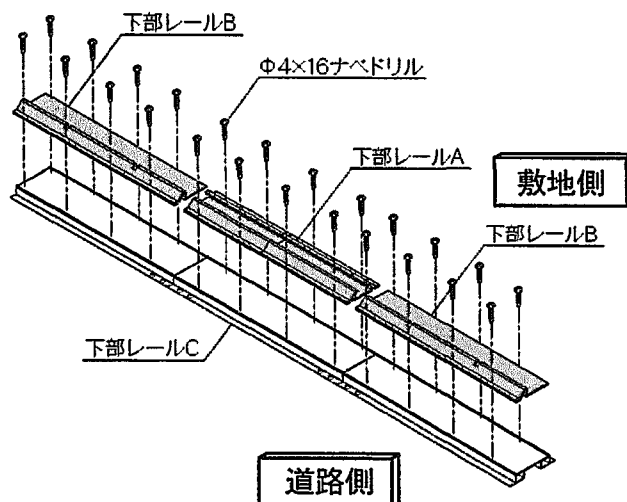
下部レールの取付け

4. 下図を参照してガイドレールを
ビス止めしてください。

片開き



両開き

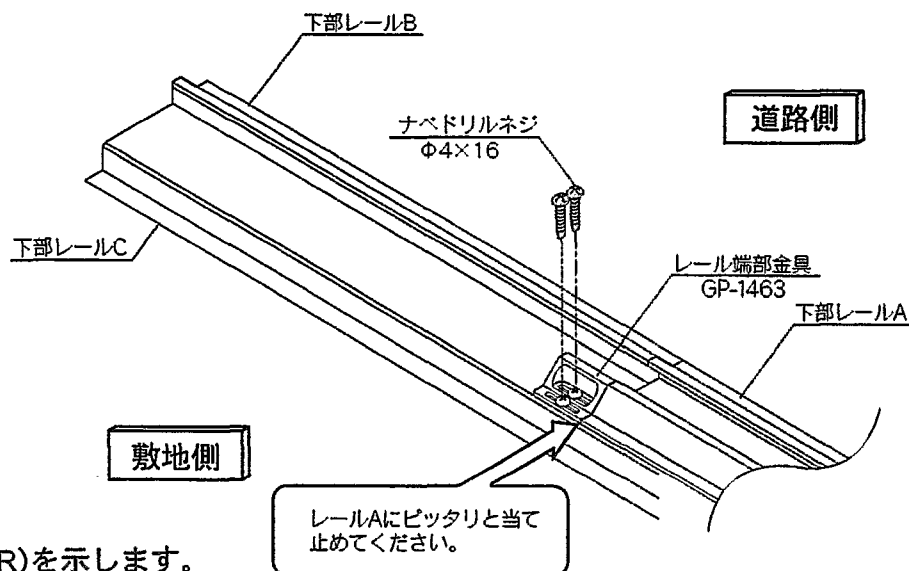


※本図は外観右勝手(R)を示します。

! 下部レールはビスでしっかりと
取付けてください。

4 レール端部金具の取付け

1. レール端部金具を下部レールBに
取付けてください。



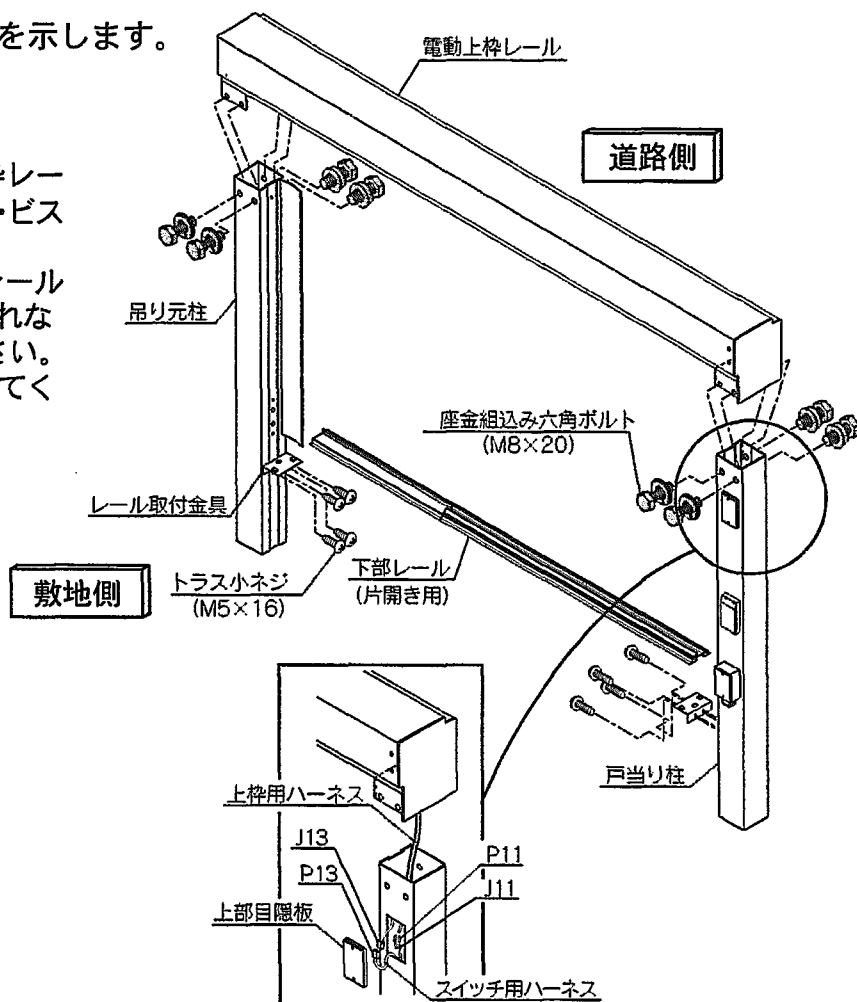
※本図は外観右勝手(R)を示します。

5 門柱・電動上枠レール・下部レールの組立

※本図は外観右勝手(R)の内観側を示します。

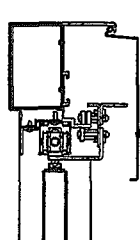
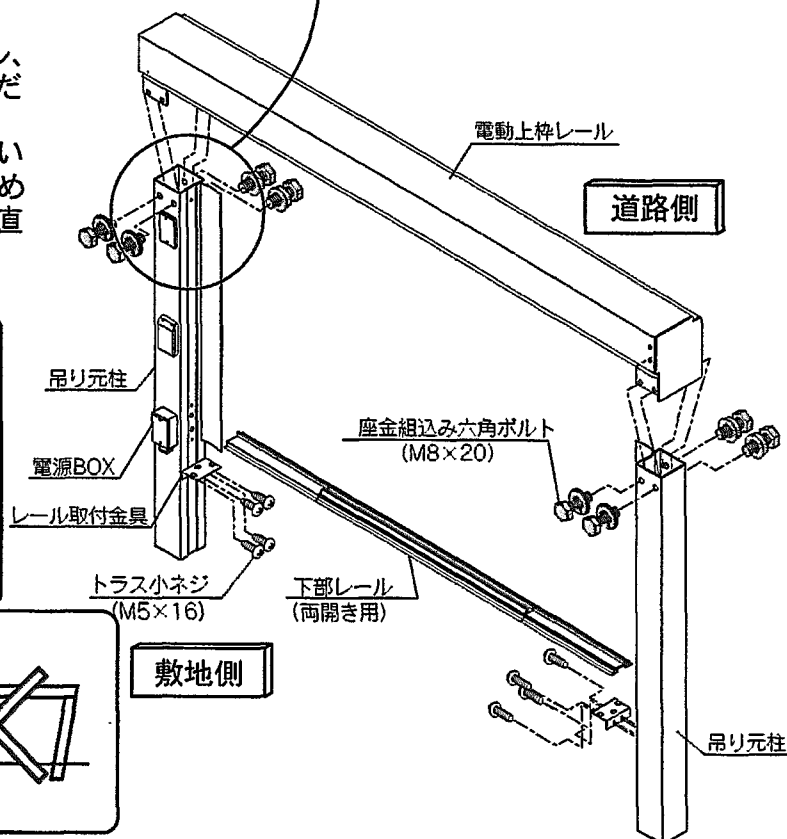
片開き

1. 各門柱の勝手を確認し電動上枠レール、下部レールを所定のボルト・ビスで固定してください。
2. 門柱・電動上枠レール・下部レールにねじれが出ない様に建て、倒れない様 木等で仮止めしてください。又、対角・水平・垂直を確認してください。



両開き

1. 各門柱の勝手を確認し上枠レール、を所定のボルト・ビスで固定してください。
2. 門柱・上枠レールにねじれが出ない様に建て、倒れない様木等で仮止めしてください。又、対角・水平・垂直を確認してください。



⚠ ボルト・ビスの取付けの際、アルミ型材の切断面で手、指等にケガをしないようご注意ください。又、ボルトはスパナ等で確実に固定してください。

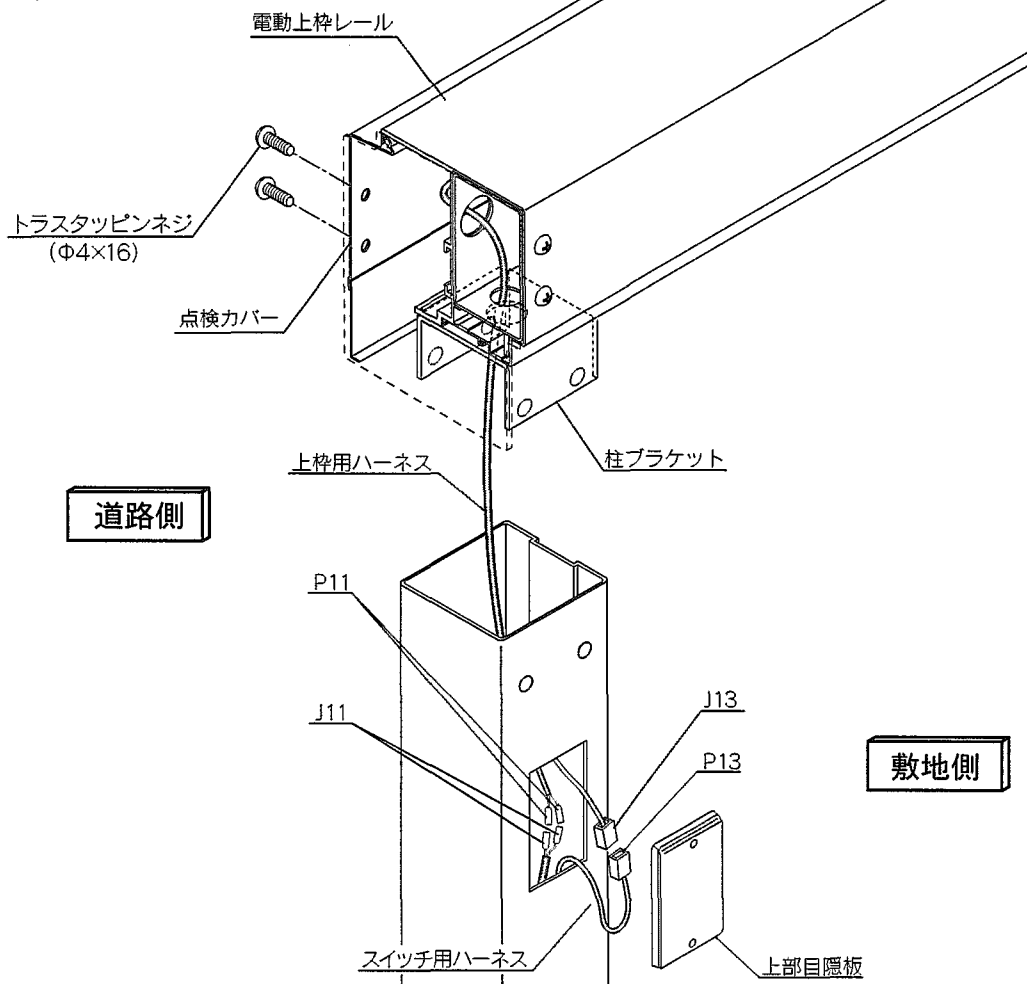


柱の対角・水平・垂直を確認してください。



6 各門柱・上枠レール・下枠レールの取付け 上枠用ハーネスとスイッチ用・電源用ハーネスの接続

1. 点検カバーの取付けネジ(トラスタッピンネジ
Φ4×16)を外し、点検カバーを開けてください。



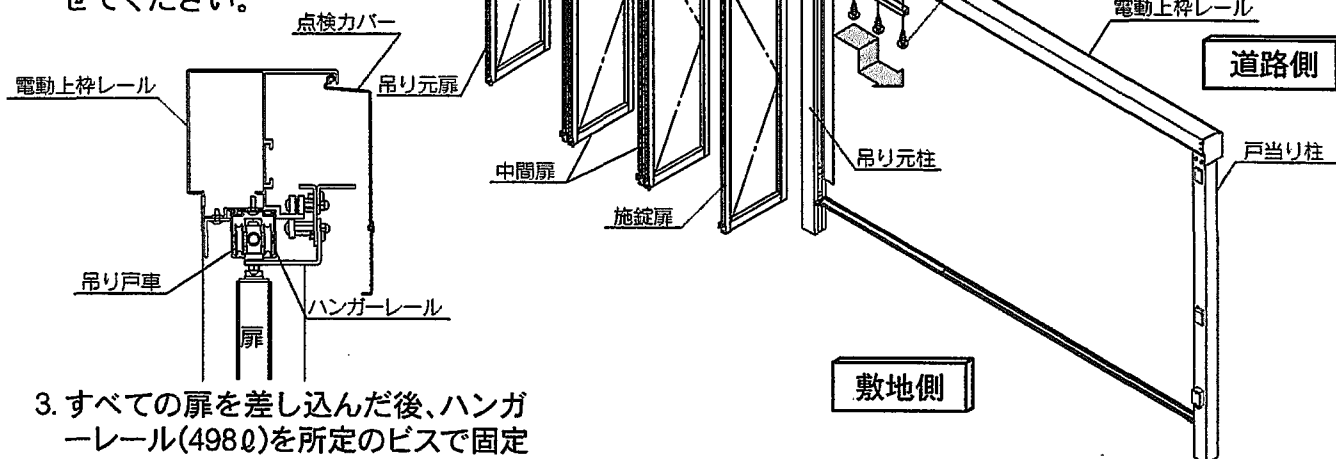
2. 柱の上部にセットしてあるスイッチ用ハーネスのP13と電源用ハーネスのJ11を出してください。
3. 上枠レール内にある上枠用ハーネスのコネクターJ13とP11を上枠レール内の切り欠き穴から入れて、柱ブラケットの穴を通して上部目隠板の切り欠き穴から出します。
4. P13とJ13、J11とP11の向きを合わせてそれぞれ接続してください。(コネクターは奥までしっかりと差し込んでください。ゆるいと接触不良となり、動作しなくなることがあります。)
5. 接続部分を柱の中に入れて上部目隠板を確実に取り付けてください。(目隠板からハーネスがはみ出したり、目隠板ではさんだりしないように注意してください。また、目隠板の取付けビスがゆるんでいたりすると雨水などが入ってしまうことがありますので、十分に注意して取付けてください。)

! ハーネスが上枠と柱の間に挟まれないように注意してください。(断線やショートすることがあります。)
上枠用ハーネス・スイッチ用ハーネスは無理に引っ張らないようにしてください。(断線することがあります。)

7 扉の吊り込み

片開き

1. 吊り元柱側の上枠レール内に組込んであるハンガーレール(498Q)を取り外してください。
2. 施錠扉から順次吊り戸車を差し込み、戸当り柱側へ移動させてください。

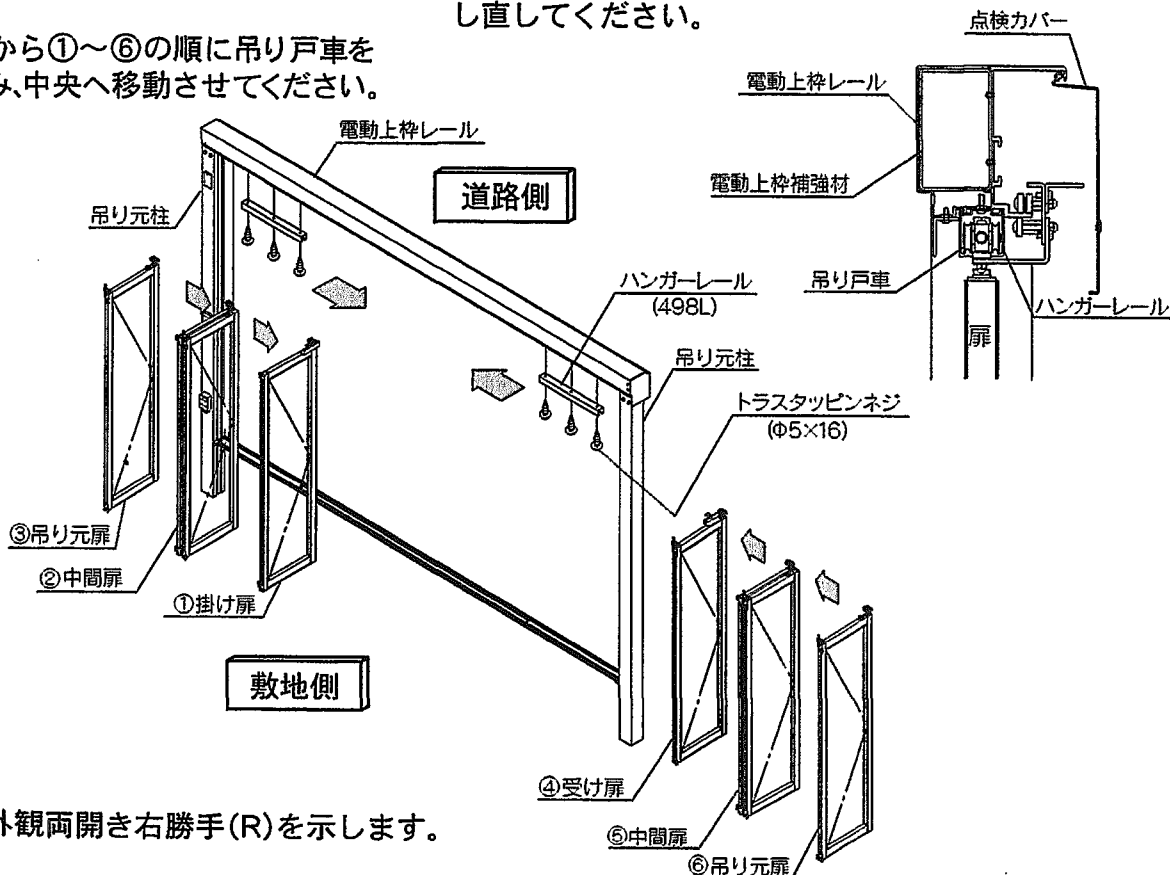


3. すべての扉を差し込んだ後、ハンガーレール(498Q)を所定のビスで固定し直してください。

※本図は外観片開き右勝手(R)を示します。

両開き

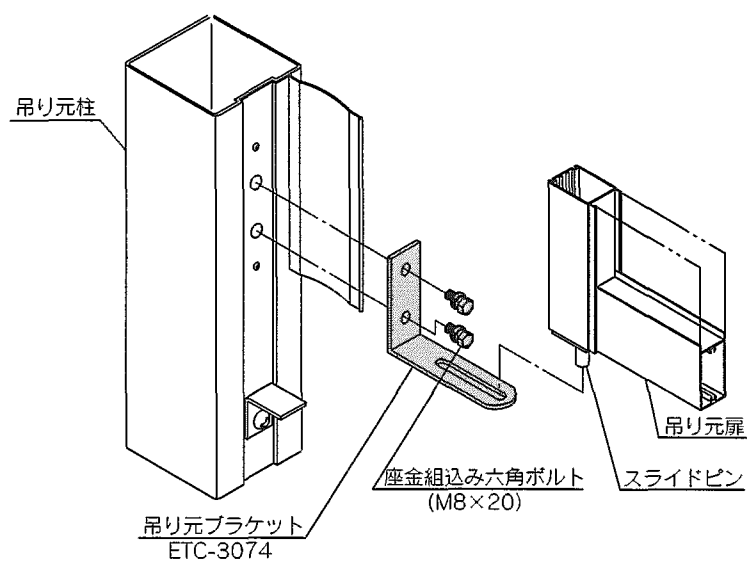
1. 上枠レール内に組込んであるハンガーレール(498Q)を取り外してください。
2. 掛け扉から①～⑥の順に吊り戸車を差し込み、中央へ移動させてください。
3. すべての扉を差し込んだ後、ハンガーレール(498Q)を所定のビスで固定し直してください。



※本図は外観両開き右勝手(R)を示します。

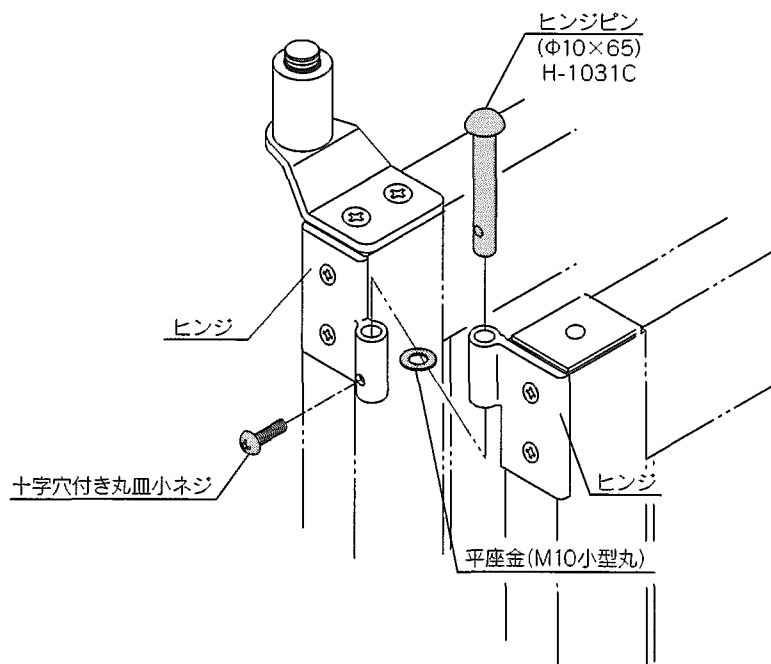
8 吊り元ブラケットの取付け

1. 吊り元ブラケットに吊り元縦框の下部に付いているスライドピンを通し、吊り元ブラケットを所定のボルトで固定してください。



9 扉の連結

1. ヒンジにヒンジピン及び平座金を通し所定の十字穴付き皿小ネジで固定してください。



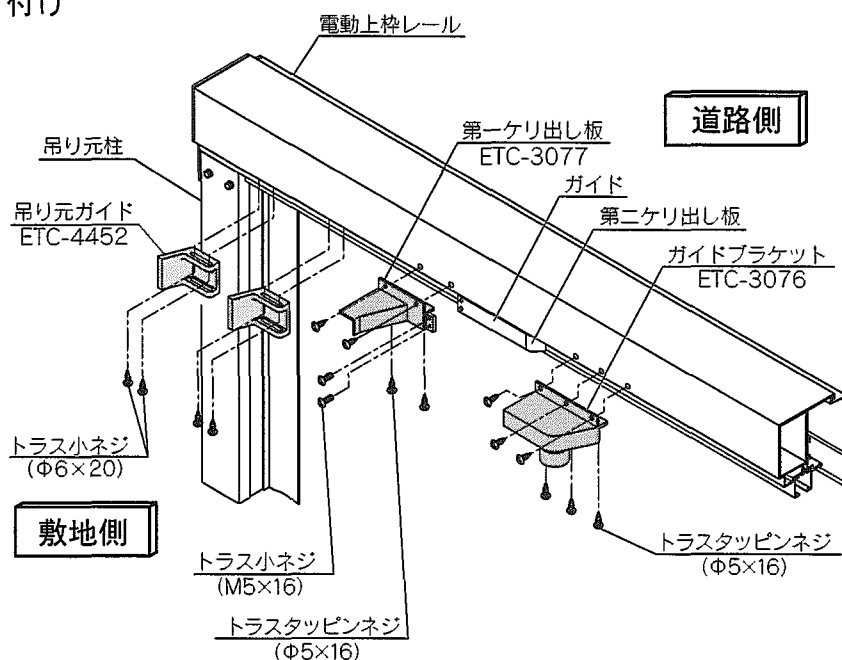
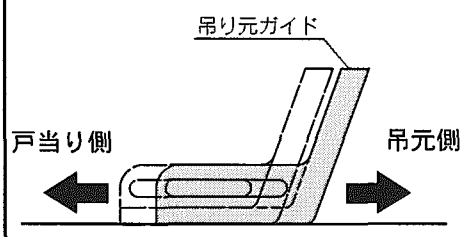
10 吊り元ガイドの取り付け

1. 扉を閉じた状態にした後、下図を参考に各ガイドを所定のビスで取り付けてください。

片開き

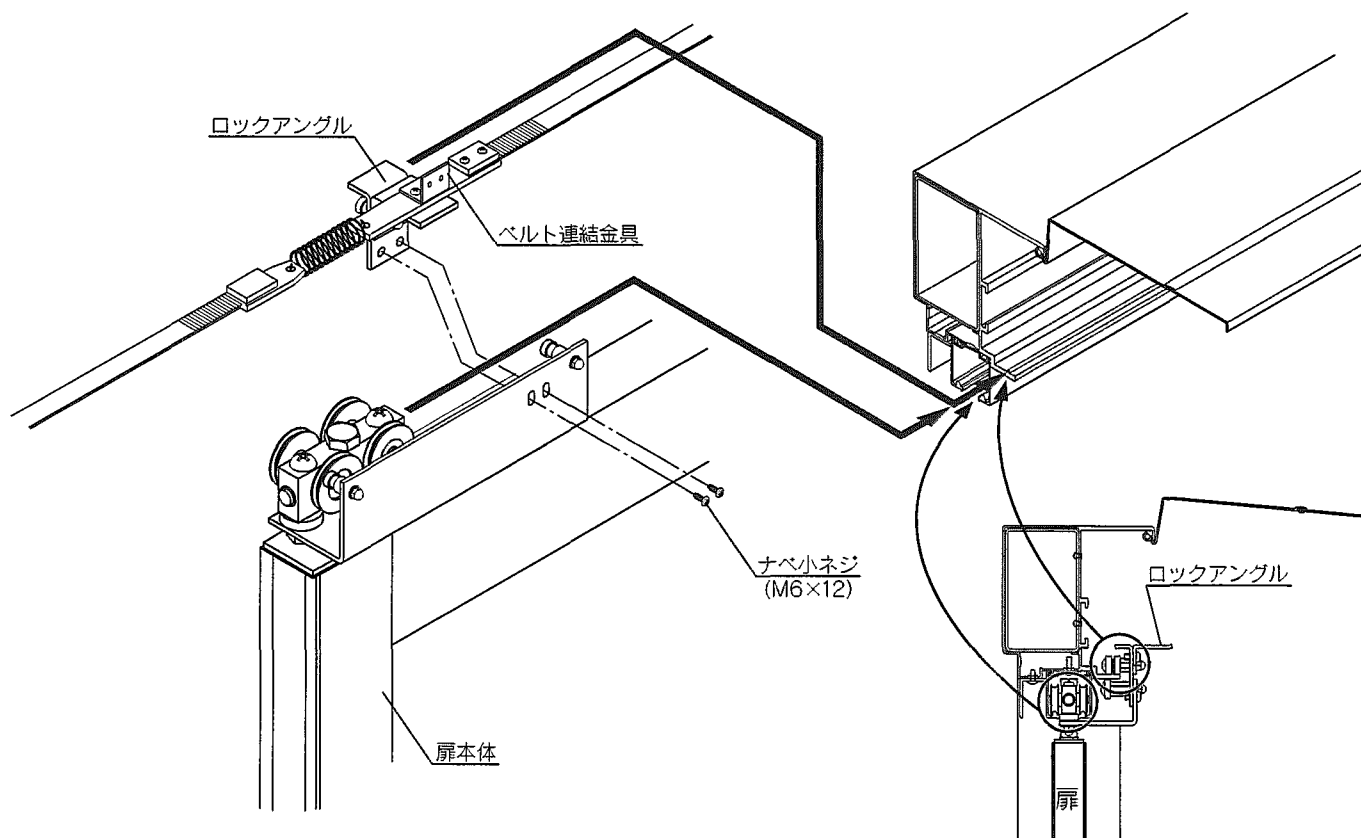
両開き左右

❗ 取付けの際、吊元ガイドの向きに注意して取付けてください。
扉を数回開閉して吊り元ガイドの位置を調整してください。



11 扉本体とベルトの連結

- 1) 下図を参考に、扉本体にロックアングル及び上枠レール内のベルト連結金具を所定の取付ボルト・取付ビスで固定してください。
- 2) ロックアングル及びベルト連結金具を取付後、図のように上枠レール内に所定の位置にセットされているか確認してください。

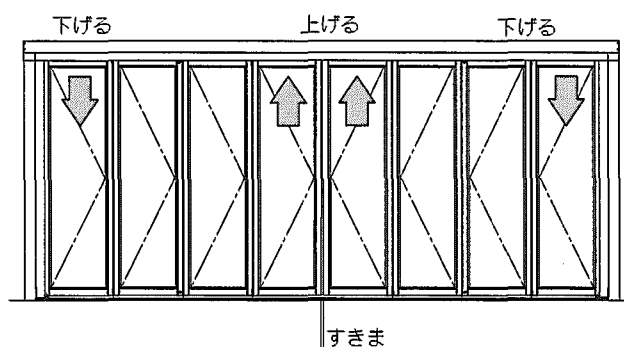
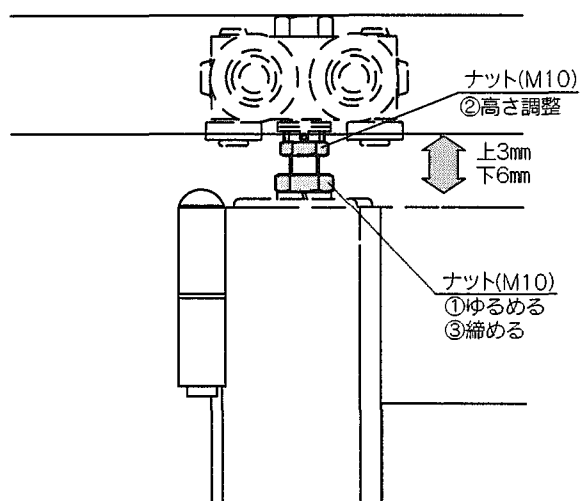


12 吊り戸車の高さ調整

1. 吊り戸車の高さを調整し、召し合わせ部の上下に隙間が出ない様にしてください。

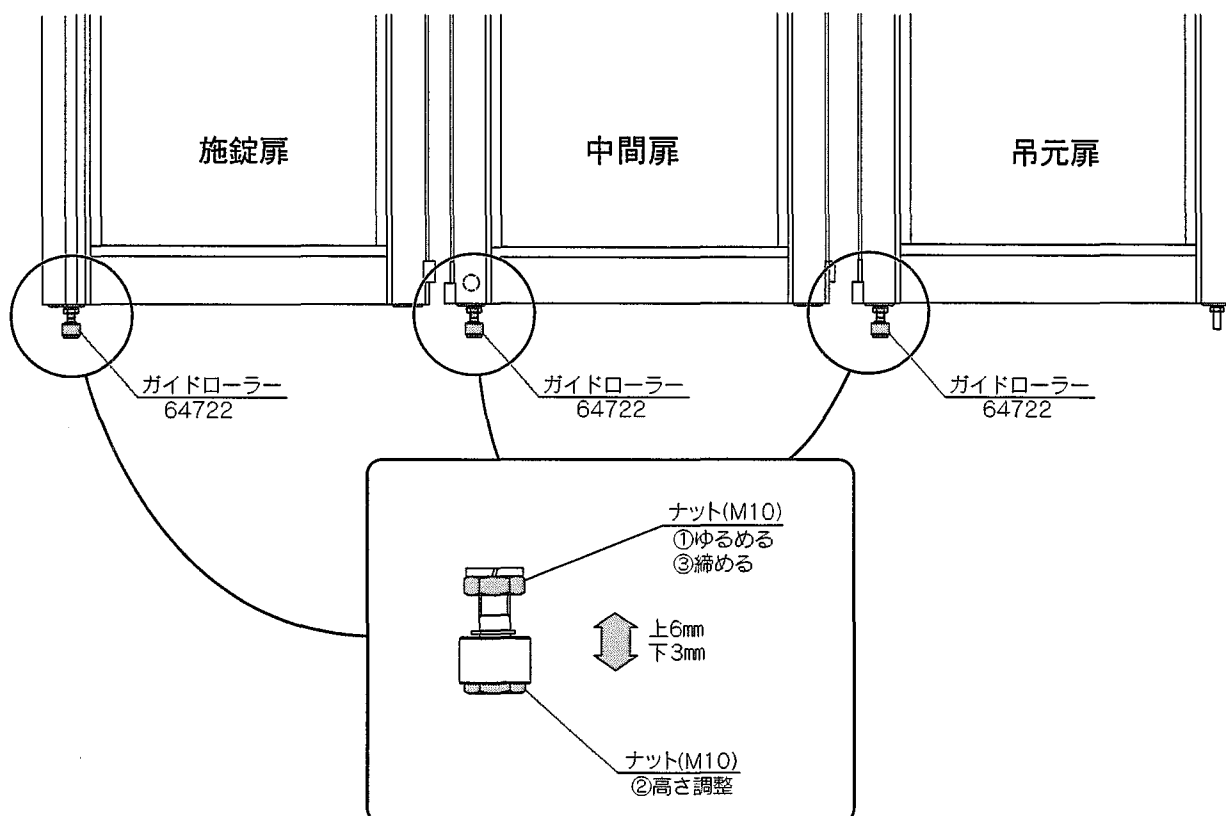
調整方法は、下図の番号順に従って調整してください。

! 扉の召し合わせ部で隙間が生じた場合は、高さ調整を行ってください。



13 ガイドローラーの調整

1. ガイドローラーを下部レールにあたらないう様に調整してください。

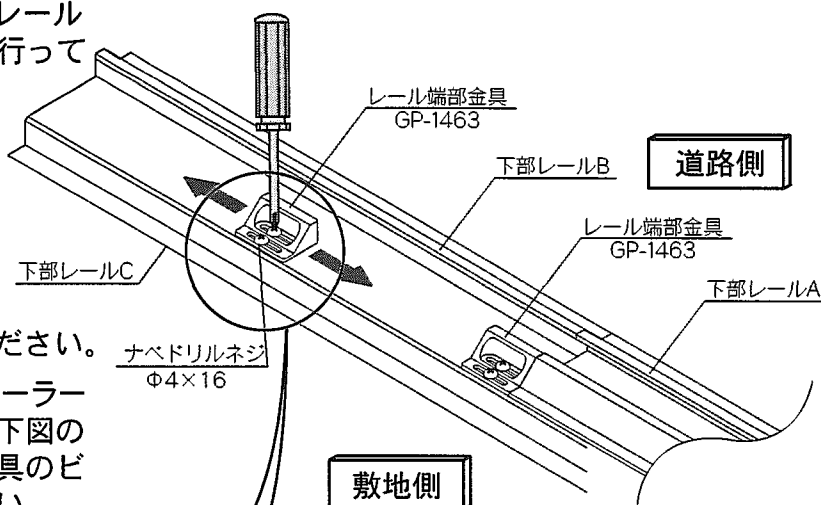
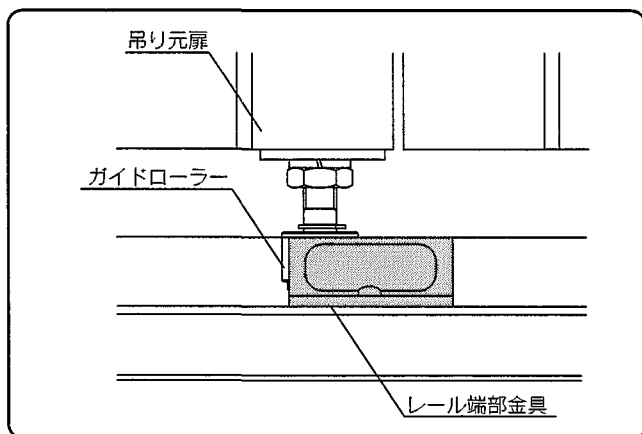


14 レール端部金具の取付け及び位置調整

扉を吊り込み終わりましたら、レール端部金具を取付けて位置調整を行ってください。

1. ガイドローラーを下部レールにあたらないうように調整してください。
2. 扉を吊り込んだ後、扉を数回開閉させてレール端部金具の取付け位置を決めてからネジを本締めしてください。
3. 調整位置は下図を参考にしてください。

扉の開閉を数回行って、ガイドローラーの位置が扉を閉めた状態の時、下図の位置になるようにレール端部金具のビスをゆるめて、調整してください。

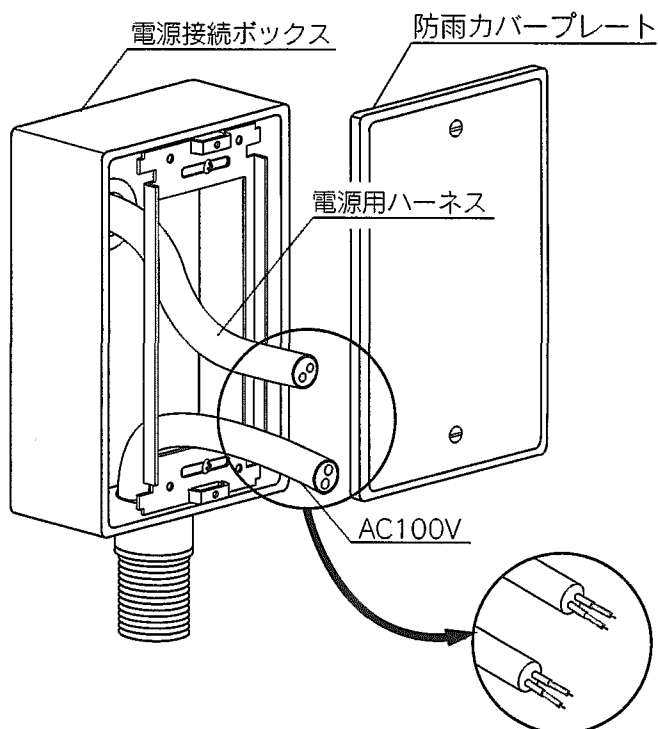


15 電源の接続

1. 下図を参考に、次の手順で電源の接続をしてください。

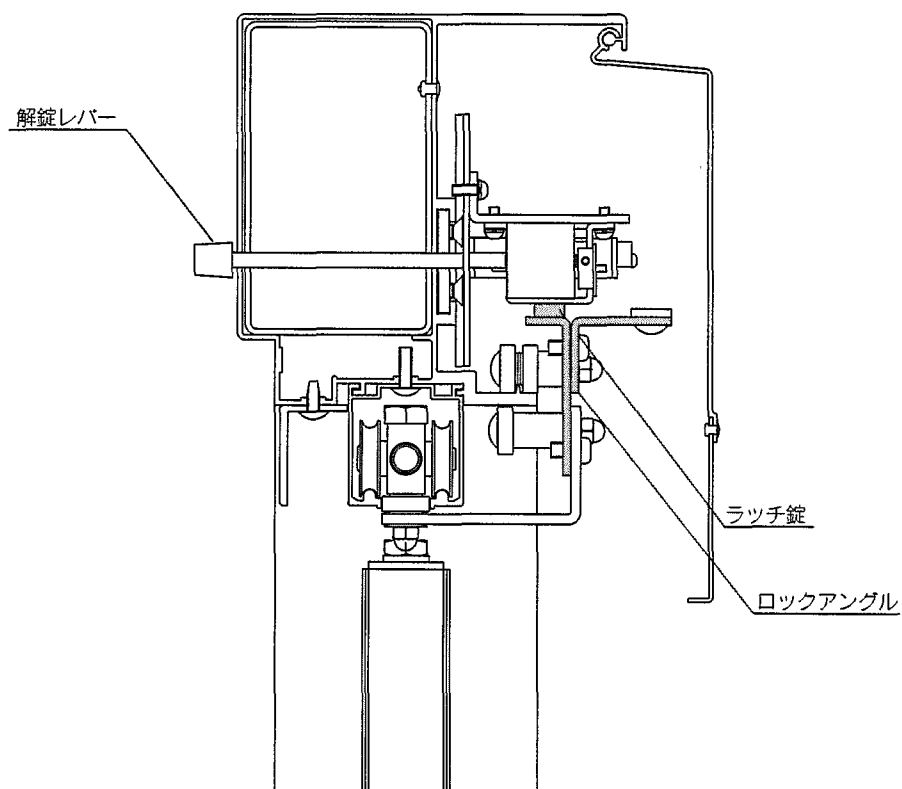
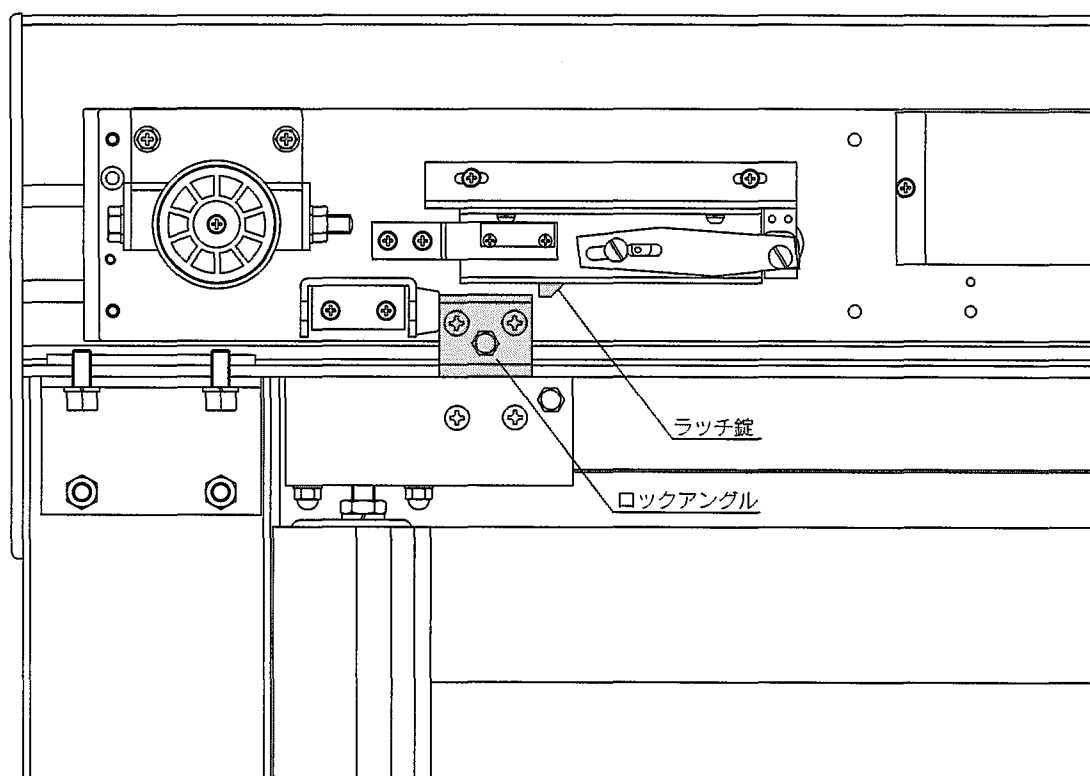
- ① 戸当り柱下部にある電源接続ボックスの防滴カバープレートを開けて、電源用ハーネスを取り出してください。(電源用ハーネスは無理に引っ張らないようにしてください。)
- ② 電源接続ボックスの下部の穴からAC 100Vのケーブルを通してください。
- ③ 電源用ハーネスとAC100Vのケーブルとを接続します。(電源用ハーネスは未加工ですので電気工事の方が端末処理をしてから接続を行ってください。)
- ④ 接続部分を電源ボックスの中へ入れてしっかりと防滴カバープレートを閉めてください。

2. 上枠レールの点検カバーをあけ中にある電源スイッチをONにして、電源表示ランプが点灯することを確認してください。

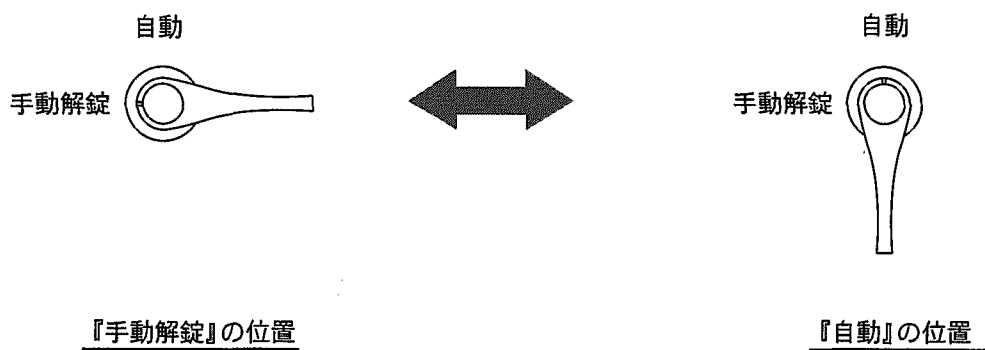


16 扉の手動での作動確認

1. 扉を手動で2、3回開閉してスムーズに動くことを確認してください。（全開 $\longleftrightarrow$ 全閉を行ってください。また、開閉の際点検カバーにロックアングルが当たらないように注意してください。）
2. ロックアングルがラッチ錠にロックする事を点検カバーを開けた状態で確認してください。

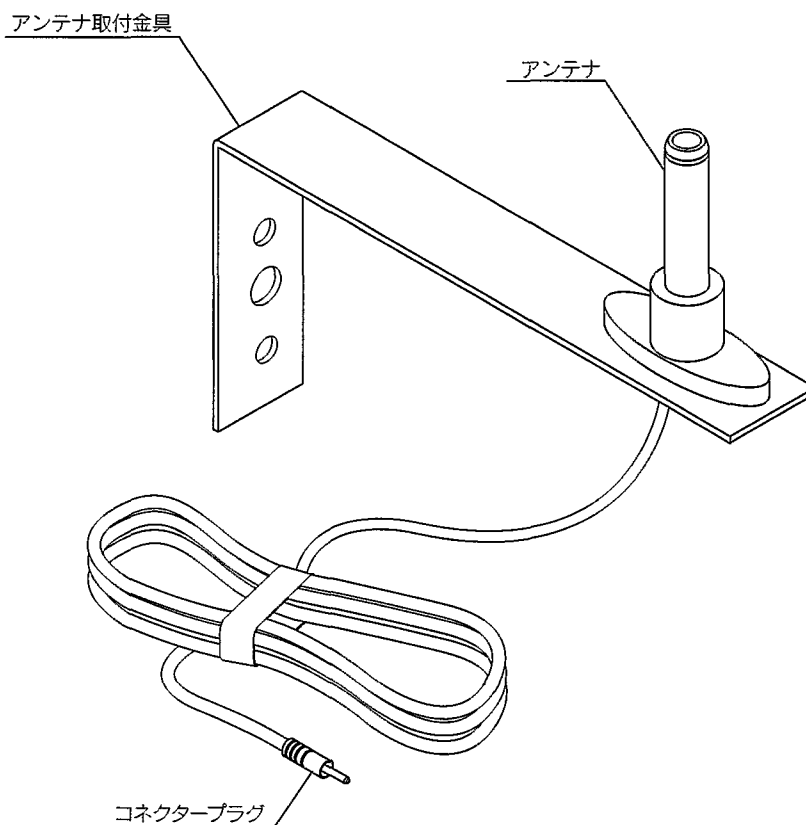


3. ロックアングルがラッチ錠にロックした時に解錠レバーで解錠出来ることを確認してください。
(解錠レバーは『手動解錠』の位置でラッチ錠のロックがはずれます。確認後解錠レバーを必ず『自動』側へ戻してください。)
4. 停電時は、解錠レバーを『手動解錠』の位置にし、手動で動かしてください。通电後は解錠レバーを必ず『自動』側へ戻してください。

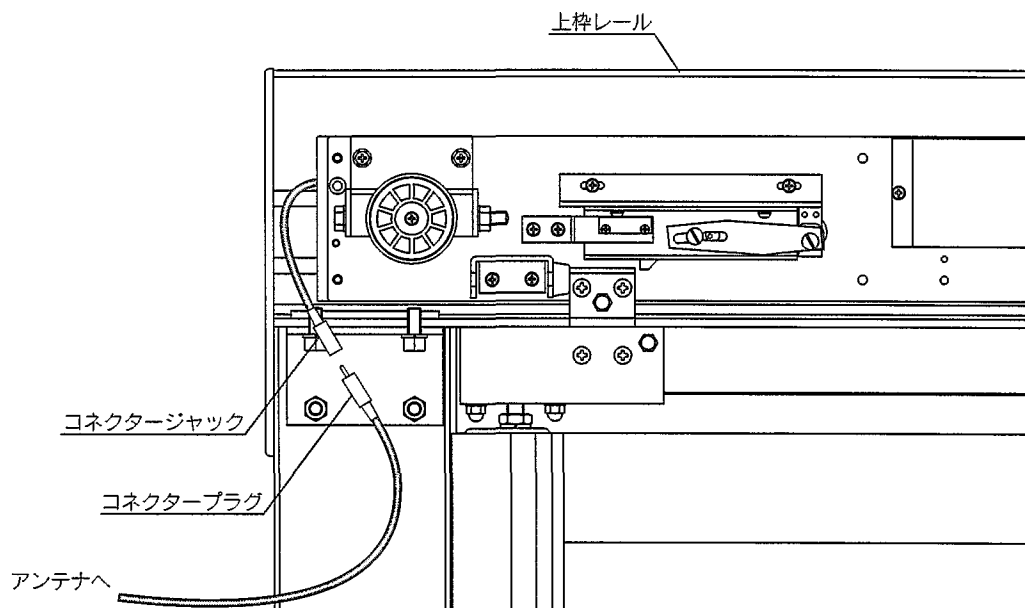


17 アンテナセットの取付け

1. アンテナセットを箱より取り出します。



2. アンテナ本体のコネクタープラグを戸当り柱側の点検カバーの下側から通し、上枠内にあるコネクタージャックと接続してください。



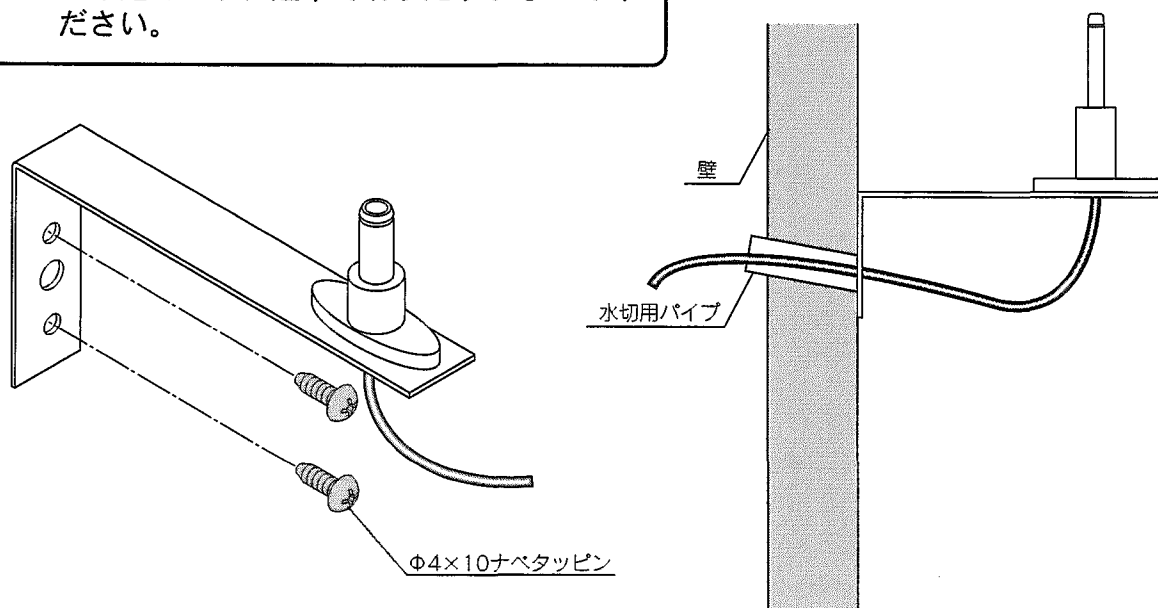
3. アンテナの設置

- ① アンテナは付属の取付ビスを使用して、出来る限り操作される見通しのよい高い位置に設置してください。

❗ 戸当り柱内には、配線が通っていますので取付けないでください。

- ② アンテナケーブルを壁(コンクリート等)を貫通して屋外に引き出す場合は、水切用パイプを使用してください。

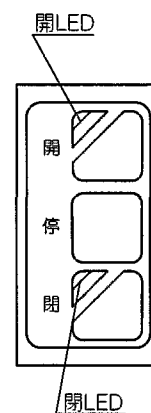
❗ アンテナケーブルは、コンクリートに直接埋め込んだり、途中で切ったりしないでください。



18 動作確認

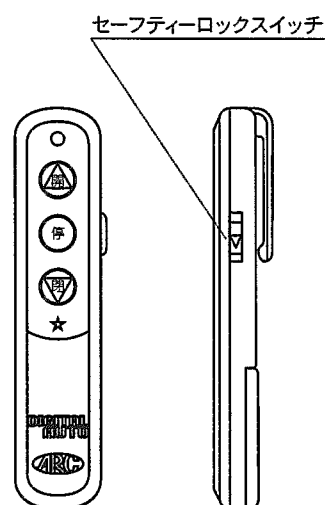
1. 敷地内スイッチによる確認

- ①「開」キーを押すと扉は開放方向に移動して、全開して停止します。
- ②「閉」キーを押すと扉は閉鎖方向に移動して、全閉して停止します。
- ③ 扉が開放方向または閉鎖方向に移動中の時「停」キーを押すと、扉はその位置で停止します。
再び「開」または「閉」キーを押すと「開」キーの時は開放方向に、「閉」キーの時は、閉鎖方向にそれぞれ扉が移動します。



2. リモコンによる確認

- ① セーフティロックスイッチを▽方向にスライドしてください。操作キーは、確認して軽く1～2秒押してください。
- ②「開」キーを押すと扉は開放方向に移動して、全開して停止します。
- ③「閉」キーを押すと扉は閉鎖方向に移動して、全閉して停止します。
- ④ 扉が開放方向または閉鎖方向に移動中の時「停」キーを押すと、扉はその位置で停止します。
再び「開」または「閉」キーを押すと「開」キーの時は開放方向に、「閉」キーの時は、閉鎖方向にそれぞれ扉が移動します。



! 必ず扉が見える位置で操作してください。

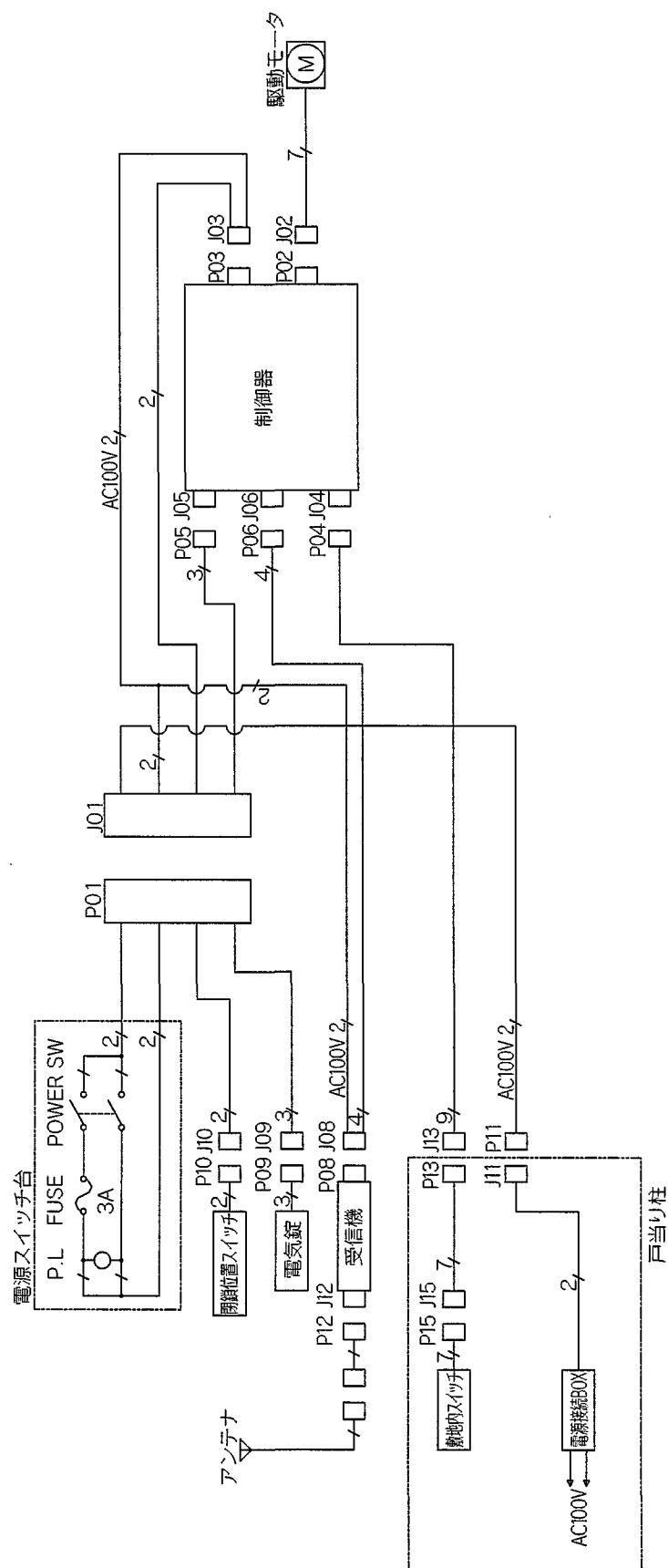
19 扉が動かないとき

扉が動かないときは、下記のような点が考えられますので再度確認してください。再度確認しても動かないときは、最寄りの営業所へご連絡ください。

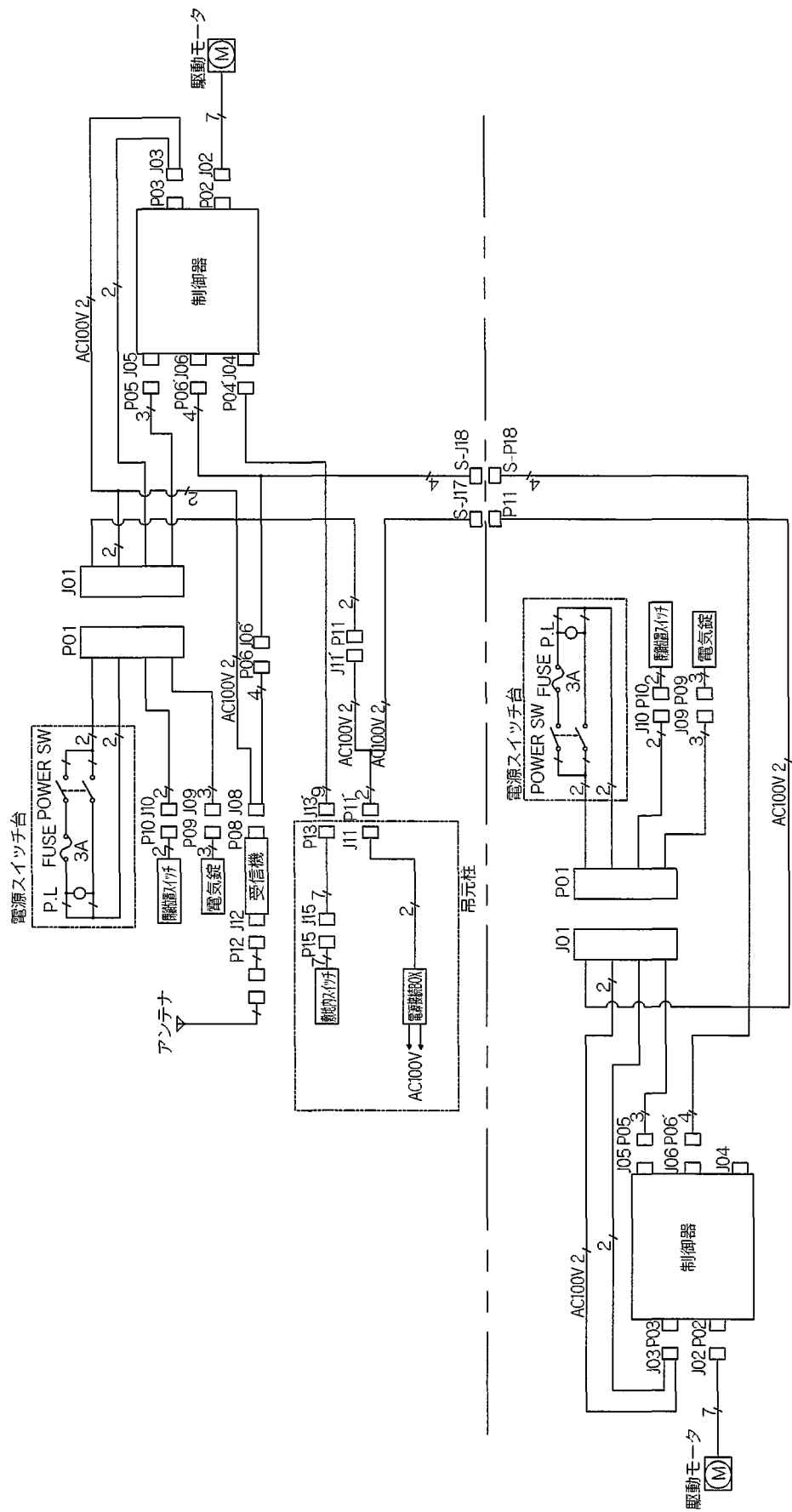
状 況	確 認 事 項	原 因	対 処
敷地内スイッチで開・停・閉を押しても動作しない。 (開または、閉を押した時にLEDが点灯しない)	1. 敷地内スイッチ・リモコンを操作しても扉が動かない。	1. 上枠用ハーネスのコネクターとスイッチ用ハーネスのコネクターが抜けている。 2. ヒューズが切れている。	1. コネクターを奥までしっかり差し込みます。 2. 新しいヒューズと交換します。 名称：ミゼットヒューズ サイズ：5.2×20 定格電圧：125V 定格遮断電流：300A 溶断特性：B
リモコンで開・閉・停を操作しても扉が動かない。	1. スクリーンゲートに近づいてリモコンを操作しても扉が動かない。 2. スクリーンゲートに近づいてリモコンを操作すると扉は動く。 3. リモコンのLEDが暗くなっている。 4. 敷地内スイッチ・リモコンを操作しても扉が動かない。	1. アンテナが接続されていない。 2. スクリーンゲートまでの距離が遠すぎる。 3. 電池が消耗している。 4. ヒューズが切れている。	1. アンテナを接続します。 2. 電波が届く所まで近づきます。 3. 新しい電池と交換します。 4. 新しいヒューズと交換します。
敷地内スイッチの開・閉キーを押しても扉が動かない。数秒後に開キー赤色LEDが点滅を始めた。	1. 手動で扉を動かすことができる。	1. ベルトがはずれている。	1. ベルトを掛け直します。
扉が閉じても電気錠が施錠しない。	1. 解錠レバーの位置を確認します。	1. 解錠レバーが「手動解錠」になっている。	1. 解錠レバーを「自動」に戻します。
停電時に扉が手で開けられない。	1. 解錠レバーの位置を確認します。	1. 解錠レバーが「自動」になっている。	1. 解錠レバーを「手動解錠」にします。 停電が復旧したら必ず解錠レバーを「自動」に戻してください。
扉が移動中に途中で止まってしまう。	1. 下枠レール周辺を確認します。	1. 下枠レールに障害物がある。	1. 下枠レールの障害物を取り除きます。

20 結線図 スクリーンゲート電動タイプ結線図

片開き用



両開き用



21 仕様

仕様

開閉速度	32cm/秒
電源	AC100V ±10% 50/60Hz
消費電力	作動時 180W
	停止時 3.5W
絶縁抵抗	DC500V 10MΩ以上
駆動方式	30Wコンデンサモーター (サーマルプロテクター内蔵) 歯付ベルト駆動
手動開閉力	5kg以下

22 おわりに

1. 以上で取り付けは完了ですが、お客様に正しく取り扱っていただく為に施工完了後に、作動、錠の掛かり具合等を確認後、使用方法・使用上の注意等をお客様に説明し、この組立施工マニュアルをお渡しください。